

経済産業部 沖縄の環境保全のために、環境コミュニティビジネスを推進

経済産業部が推進するOKINAWA型産業振興プロジェクトでは、去る7月31日に「環境ビジネスフォーラム」を開催し、事業者、NPO、市民などが連携することで、地域の環境問題を解決しつつ、まちを活性化する「環境コミュニティビジネス」に関する情報提供を行いました。

電気通信大学の竹内教授は、「環境コミュニティビジネスの自立経営」と題した講演の中で、コミュニティビジネスを始めることは、経営資源(ひと、もの、金、情報)が不足した状態でスタートするので、そのビジネスに合った経営管理手法を積極的に取り入れて効率的な経営を行うことが重要であると指摘しました。続いて、立教大学の萩原助教授は、「NPOと環境コミュニティビジネス」と題した講演の中で、NPOの社会的役割は、地域社会の課題に儲けとは関係なく冒険的に取り組む先駆性や、様々な価値観で社会的サービスを提供するマイノリティへの対応などが挙げられるとし、この特徴を活かし、地域ニーズにあった社会サービスの提供が期待されていると指摘しました。

また、経済産業省では、平成18年度環境コミュニティビジネスモデル事業として、全国で14件を採択しており、本フォーラムでは、その中から、次の沖縄の2テーマを紹介しました。

NPOしまづくりネットが行う
「レンタル自転車事業」

NPOコーラル沖縄が行う
「養殖サンゴ植え付け事業」



竹内教授



萩原助教授

運輸部 平成18年『海の月間』について

祝日「海の日」は、海の恩恵に感謝し、海を大切にする心を育むため平成8年に制定されました。

この「海の日」の意義を広く理解していただくため、7月を「海の月間」とし、全国各地の都市において多彩な行事が展開され、管内においても、「那覇観光キャンペーンレディによる一日船長」、「みなどフェスタ」、「ビーチのクリーンアップキャンペーン」、「中学生海の絵画コンクール」等の行事を行いました。

大型客船の一日船長を務めた那覇観光キャンペーンレディの潮平樹利さんは「船の旅は私達に夢とロマンを与えてくれます。今後とも安全航海に努めて頂き、明日を担うシーマンとして頑張って下さい。」と、船員や関係者に向けてメッセージを送りました。

この他、「海事関係功労者表彰式典」を20日に開催し、海運、港湾、海洋環境保全関係者等23名の方々を表彰しました。

また、同式典において、「中学生海の絵画コンクール」受賞者への表彰式も行い、沖縄総合事務局長表彰・金賞受賞の仁添まりなさんをはじめ、10名の県内中学生が表彰されました。



一日船長



海事関係功労者表彰式典

財務部 財政講演会を開催

8月22日、我が国財政の現状と課題について理解を深めさせていただくため、財政講演会を開催しました。産業界、金融・保険業界、行政機関、婦人団体、教育機関などから、約150名の出席がありました。講師の財務省主計局主計企画官の藤井健志氏からは、歳出予算を抑えるには、社会保障と地方交付税についての議論を深めないと、歳出削減による財政健全化はとても難しい状況になることや国債費の累増など、我が国財政の抱えている問題点等について説明しました。

聴講された方々からは、「歳入・歳出のバランスを図っていくには、税制改革は避けられない、そのためにも消費税の見直しは早めに着手すべき」、「歳出削減を徹底的にやるには、国の事業を大幅に見直し、国家公務員の数も大幅に削減すべき」、「るべき税制の構築に向けて積極的な広報を実施してほしい」などの意見もありました。



開発建設部 優良業者等表彰式を開催

去る7月14日、「平成17年度開発建設部所管優良業者等表彰式」を開催しました。

本表彰は、平成17年度に完成したダム、道路、港湾、空港、公園、官庁施設の各部門における工事の1000万円以上の契約件数247件の中から、また測量、設計調査業務等については500万円以上の契約件数206件の中から、特に優秀な成績を認められた施工業者並びに技術者を表彰したものです。竹林局長は、受賞者へのあいさつの中で「それぞれの分野においてご熱心に仕事をしていただき、困難性の克服や創意工夫を行うことにより、優秀な成績を納めて頂いた。皆様の業績は他の模範になるとともに、業界全体の技術力の向上に多大な貢献をされたものであり、そのご努力に敬意を表するとともに更なる人材の育成や技術力の向上等を図り「平和で安らぎと活力のある沖縄県」を実現するため、なお一層のご尽力を賜りますようお願いしたい。」と述べました。



受賞された皆様
 • 優良施工工事(六社)
 • 安全施工工事(二社)
 • 優良業務(四社)
 • 優秀工事技術者(四名)
 • 優秀業務技術者(二名)